

ごあいさつ

かつて豊穡の海として、かけがえのない多くの恵みもたらしてくれた八代海・有明海は、いまや著しい環境劣化の悪循環に陥っていると懸念され、その自然再生は極めて重要な緊急の課題です。特に底質の泥化が著しく、海底の底質は表面から数 10cm の範囲で還元状態にあり、底泥中の溶存酸素は殆ど零の悲惨な状況にあります。これらの結果、貧酸素水塊や赤潮等が多発・長期化の傾向を示し、有用水産資源の減少、底生生物の斃死を招くとともに、海域固有の希少種の絶滅も懸念されています。海域環境の悪化が著しい一方で、この八代海・有明海海域は台風の常襲地帯でもあり、毎年、高潮・高波などの海象災害や強風、豪雨による洪水、土砂災害などに悩まされており、さらに、巨大化・頻発化の兆候が著しい自然災害に対する防災・安全対策も欠かすことができません。しかしながら、これらの防災対策が自然環境を阻害している面もあり、如何にして「環境」と「防災」の相反する課題に対処していくかを新たな課題として見据えていかねばなりません。“災害に強く安全でかつ環境と調和した個性ある地域創り”に関する早急な学術・技術的対応が強く要請されている現状にあります。



この両海域の再生にあたっては、海域のみならず陸域を含めた沿岸域一帯としての取り組みが必要であり、より良い八代海・有明海の未来へ向かって、多様な関係者が共通認識を持って進むべき時が訪れています。

この八代海・有明海が抱える、“海の自然環境の保全と再生”、“環境と防災の調和”をテーマに、この八代海・有明海が多くの方に理解されるとともに、関係者が情報・意見交換などを行い、“どうすれば豊かな八代海・有明海を再生することが出来るのか?”、“安心・安全で元気でいきいきした沿岸地域環境をどう創り、守っていくか?”などを一緒に考える機会を設け、八代海・有明海の再生へ向けての活動推進のきっかけにするために「第 8 回全国アマモサミット in くまもと・やつしろ」を開催いたします。

平成 27 年 10 月 3 日

第 8 回全国アマモサミット 2015inくまもと・やつしろ実行委員会
委員長 滝川 清